

評価基準

投稿原稿は、ダブル・ブラインド・ピアレビュー方式によって審査される。
審査プロセスは次の3段階で構成される。

1. CFP事務局（投稿原稿の個人情報を外して匿名化し、2. 査読管理委員会に回す）
2. CFP査読管理委員会は匿名化された原稿を査読者に配分する
3. 一つの投稿原稿につき2名の査読者が審査する¹

評価項目

(1)学術的な質（内容） a. 着眼、研究方法、結果等の、これまでの研究には見られない独自性と独創性、b. ショーペンハウアー研究の内容（情報、データ）の拡大、深化、革新への貢献²、c. 綿密な文献調査 [ショーペンハウアーの著作や遺稿]、ドイツ語や自国語の二次文献を含む現代の国際的ショーペンハウアー研究の現状をも参照して立論を根拠づけているか

(2)学術的な質（形式） a. 学術論文作法の遵守：テーマにふさわしい論文構成、適切な引用・参照、脚注ないし巻末注、著作権の遵守、など、b. 整合的で、（内容の難度に応じた）明晰判明な文章表現になっているか、c. 言語表現³：分かりやすさ、説得力、文体

評価手順

初めにすべての個別項目の評価を行い、次に(1)および(2)の総合評価、最後に全体評価を行う。総合評価は、個別評価の計算上の平均値である必要はない。

個別項目 a., b., c. に査読者は独自の評価項目を追加し、それら追加の評価項目を総合評価、全体評価に反映させることができる。

評点結果の段階

S（秀）：内容的、形式的な観点から、最高の独創性と学術性を備え、ショーペンハウアー研究に卓越した貢献をなすことに疑いの余地のないもの

A（優）：内容的、形式的な観点から、高い独創性と学術性を備え、ショーペンハウアー研究に優れた貢献であると認められるもの

B（良）：(1)a.およびc. または(1)b.およびc.に関して、ショーペンハウアー研究に明らかかな貢献が認められ、かつそれに対応する(2)学術的形式のレベルを満たしているもの

C（可）：(2)の条件を満たし、よく書けている論文であるが、ショーペンハウアー研究に関して(1)の学術的な独創性が明らかでないもの、ないし、現代のショーペンハウアー研究の内容（情報、データ）の拡大、深化がまったく、ないしほとんど認められないもの

D（不可）：上記の要件を満たさない応募原稿

評価の全項目にこれらの評点をつける。必要に応じて評点の説明や根拠などを記入することができる。

応募原稿の採用不採用の判断にあたっては、主として(1)の項目が考慮され、(2)は補助的な役割を担う。ただし(2)の総合評価がDの場合は、(1)の結果にかかわらず最終評価をDとする。

¹ 査読者は、審査結果の集計が完了するまで、応募原稿の著者に関する情報も別のもうひとりの査読者に関する情報ももたない。

² 未知の情報の発掘整理、既知の情報の新たな視点からの整理による今後の研究への貢献など。

³ (2)b.が論理的な要素を評価するのに対し、(2)c.はより語学的な要素を評価する。